

丸之内だより

戰捷と新年の喜びをこめて、茲に昭和十三年の正月号をお届けいたします。何卒本年も相變らず御愛讀下さいます様、お願ひ申します。

×

御覽のとほり、本號は『建設の日本』號として特輯いたしました。毎號建設の日本號ならざるはない本誌ではあります、大捷の新春に於て無敵軍隊を有する我日本は、文化的建設の陣も亦斯くの如く充實進展せしめつゝありとの意氣を特に示したかつたのであります。

×

編輯室の机上には、私どもの微衷を諒とせられ全國から寄せられた名工事の寫眞と記事が文字通り山積いたしました、私どもは此實に夥しく集つた工事寫眞を手にして、南京陥落の號外にも増した力強さを感じたのであります。日本は生きてゐる！ 日本は躍進する！ との感を強めたからです、世上稍もすると臆説を流布して人心を悲觀の底に導くが如き人も少くありません、然しです、茲に集積された全國の工事を御覽になりましたなら、大捷の皇軍と共に勇躍前進すべきではない

でせうか。

×

云ふまでもなく工事は國力の表徴です、少くとも國力の一端を表現するものです。國民總動員體制下に戰争は續けられる。國民の一人残らずが皇軍を支持し且つ信頼し、その勝利を祈つて他をかえり見るものがない。しかも一方に於ては斯くの通り文化の建設が進められてゐる。茲にわが皇國の強さがあると云はねばなりません。さうしてこれこそ永遠に滅びざる強さなのであります

×

たゞ殘念なのは、誌面を限られてゐる私共は限りなき工事を一時に掲載出来なかつた事です。何れを載せ何れを割愛すべきかに就て、連日遅くまで編輯會議を開き、結局原稿の到着順による外なしと定めたのです。爲に多くの寫眞と記事が二月號に廻されました。茲に折角御寄稿下さいました諸先生に一言お断り申上げると共に更に二月號を建設の日本第二號として國力充實に邁進すべきを誓ふものであります。

謹賀新年	
昭和十三年元旦	
P工	主幹社長
・事	岡鶴
E關營編	
發研西	崎田
行究支	業轉
所會局部部	保勝
	吉三
	社

土木建築工事畫報	第十四卷 第一號	定價金七拾錢（稅二錢）	毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行
普通購讀料	昭和十二年十二月廿六日印刷納本 昭和十三年一月一日發行		關西支局
壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月貳圓 稅共 六ヶ月四圓 同 一ヶ月八圓 同 外國一部 稅共 七十八錢	編輯兼印 刷發行人	大阪市浪速區惠美須町 2丁目13	
	東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	工事畫報社支局 電話戎86番	
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、 東京七〇貳六五番宛拂込の事但し六、ヶ月以上 上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麹町區丸ノ内三丁目六 電話丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大賣捌所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館	

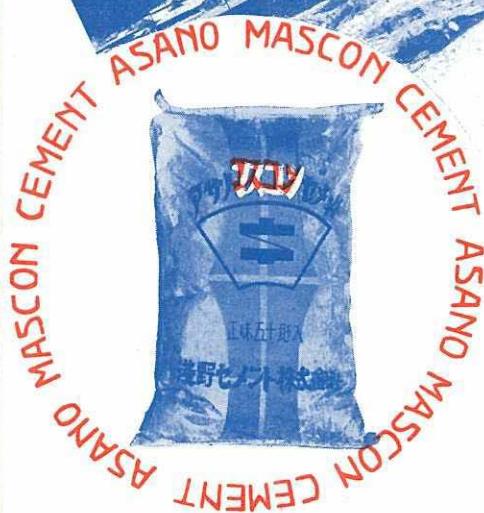
超 高 級

浅野ベロセメント

短 期 高 强 度
工 事 期 間 短 縮
工 事 費 節 約



(浅野セメント香春工場)



低 発 热

浅野マスコンセメント

大塊 コンクリート用

説明書御申込次第送呈

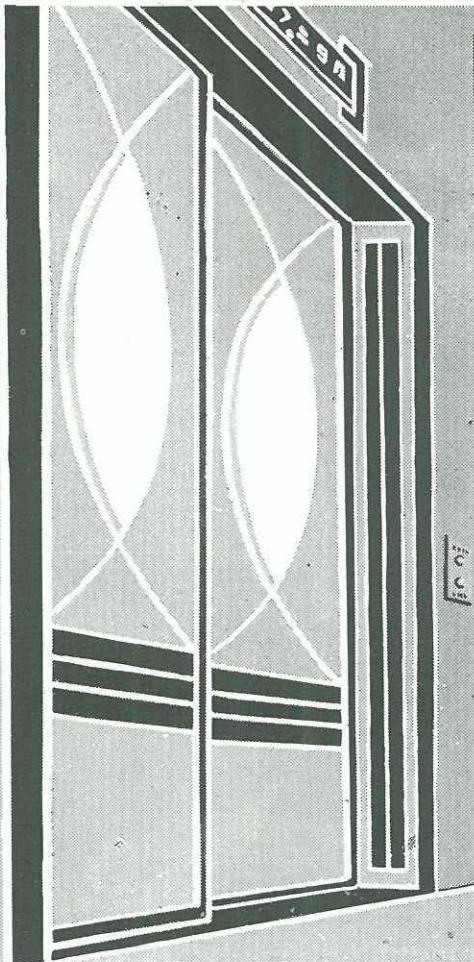
浅野セメント株式會社

東京丸ノ内・海上ビル新館

THE "KOJIGAHO"
 AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW
 VOL. 14, No. 1
Published Monthly by the Kojo-Gaho-sha
 Tokyo Japan

昭和十四年三月一七日。毎月十八日第三種郵便物認可
 発行日印刷所毎月一回發行本社

建築工事畫報 第十四卷 第一號



製作と据付

乗用エレベータ

給仕用エレベータ

貨物用エレベータ

電氣自動階段

定價金七十錢

送料二錢五厘

一手販賣店
三菱商事株式會社
 機械部 東京丸ノ内・支店 出張所各地
三菱電機株式會社
 本店 東京丸ノ内 製作所 神戸・名古屋・長崎